

○身近で起きた災害事例

【中村町の事例 平成29年10月22日(日)】

台風21号による豪雨により、県道館町通線御側橋から近鉄カード下間の一部で冠水があった。



【楠部町の事例】

楠部町の場合、五十鈴川と水はけのバランスにより、集中豪雨となると道路や田畑が冠水して移動が困難になる。

○集中豪雨になると冠水する場所

- ・イオン南側の道路
- ・神宮神田の道路
- ・楠部町公民館前
- ・国道23号と御幸道路の間の道(ファミリーマート沿い)

【緑が丘の事例 平成29年10月22日(日)】

近年、災害の事例はありません。

【一宇田町の事例】

一宇田川は、台風や豪雨があるたびに氾濫して道路が浸水する。浸水場所は、公民館下の広場から一宇田川沿いに近鉄線高架下、浸水場所は、公民館下の広場から一宇田川沿いに近鉄線高架下、県道鳥羽松阪線の「しごうこども園(避難指定施設)」までの道路です。

道路が浸水してからの避難は危険で早めの避難が重要ですが要支援者を除く、ほとんどの町民は二階や高い場所への垂直避難をしています。



【朝熊町自治会の事例 2017年10月22日】

- 選挙のあった日ですので、当時の羽柴区長は朝熊児童センターで選挙の立会をしていた。
- 選挙会場へ夕食の出前を届けてくれる予定の店の方は途中の道が冠水していたため、来ることができなくなった。
 - 羽柴区長も家に帰ることが出来なくなり、伊勢病院に避難し、翌日帰宅した。
 - 公民館裏の道と西山地区を流れている西山川が氾濫し、周辺が冠水しました。
 - 蟹田排水機場は、一日中稼働していたが、朝熊町へ入る道はすべて冠水してしまった。

【朝熊町委員会事例】 2015年9月9日撮影



朝熊川



しごうこども園付近

2021年2月15日撮影



大雨の後、朝熊投棄場付近の伊勢市の駐車場から道路へ砂利が流出

【鹿海町の事例 平成29年10月22日(日) 台風21号襲来】

午後8時、選挙投票が終了した時点で、鹿海町関係の道路の冠水等の情報が公民館に寄せられ、五十鈴川流域に「避難指示」町外への移動はできない状態であったため、急遽、町内放送で道路冠水状況と「垂直避難」に関する案内をした。

翌早朝、黒瀬道、墓道などまだ冠水場所もあり、県道館町通線や市道朝熊浜郷線の精米所のT字路、石田橋のところまではまだ冠水。楠部町への道で鳥羽二見ラインのアンダーパスでも車が水没し、朝熊道の鳥羽二見ラインの高架下でも何台かの車が水没していたなど鹿海町は陸の孤島状態になっていた。

○ **安全な避難を確実にするために**

- ・情報の収集(テレビ・ラジオ・インターネット等)
- ・被害想定(ハザードマップを確認)
- ・避難必要な場合は出来るだけ早めの避難行動を!
- ・ご近所への「声かけ」も忘れずに!
- ・一人暮らし、高齢者、支援が必要な人の把握。
- ・防災無線の活用。
- ・貴重品などの管理も忘れずに!
- ・避難所での一定期間の生活を想定して入念に準備!

